

盛岡市道路舗装等維持管理計画

平成31年

盛岡市

目 次

1	舗装の現状と課題	2
1.1	管理道路の現状	
1.2	舗装の現状	
2	舗装の維持管理の基本的な考え方	3
2.1	舗装管理の基本方針	
2.2	管理道路の分類（グループ分け）	
2.3	管理基準	
2.4	点検方法・点検頻度	
2.5	使用目標年数（分類 A の道路）	
3	計画期間	3
3.1	計画期間	
3.2	計画期間内の修繕費用の見通し	
4	対策の優先順位（補修計画の方針）	4
5	舗装の状態，対策内容，実施時期	4
5.1	診断結果	
5.2	対策内容と実施時期	

1 舗装の現状と課題

盛岡市は、平成 31 年 4 月 1 日現在、約 2,446 km の道路を管理しています。

これらの道路の舗装は、時間とともに劣化が進行するものであり、道路の役割を果たし続けるためには、維持管理・更新を適切に行っていくことが必要です。

このため、道路の安全性の確保と長期的なコストの縮減を図るため、舗装維持管理計画を策定しました。

1.1 管理道路の現状

管理延長と舗装延長

道路区分	実延長	舗装延長		舗装率
		As 舗装	Co 舗装	
1 級	334.7 k m	300.5 k m	0.5 k m	89.9%
2 級	219.2 k m	211.5 k m	0.4 k m	96.7%
その他	1858.2 k m	1,470.3 k m	3.5 k m	79.1%
独立専用自歩道	33.5 k m	22.7 k m	10.2 k m	98.2%
計	2,445.7 k m	2,005.0 k m	14.6 k m	82.0%

※As 舗装に簡易舗装を含む

1.2 舗装の現状

(1) 舗装済延長 2,019.6 km

(2) 舗装の状態

ひび割れ



わだち



2 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト削減を目指します。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・市道種別，バス路線，人口集中地区等を踏まえた分類

分類	対象道路
分類 A の道路	損傷の進行が早く，公共性が高いなどサービス水準が高い道路
分類 B の道路	損傷の進行が早く，大型車交通量が多い道路
分類 C の道路	損傷の進行が緩やかで，大型車交通量が少ない道路

2.3 管理基準

ひび割れ率	わだち掘れ量	IRI
40%	40mm	10mm/m

※IRI：International Roughness Index。縦断凹凸の評価のこと。

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類 A の道路	目視	5年に1度
分類 B の道路	目視	5年に1度
分類 C の道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

2.5 使用目標年数

- ・修繕実績や大型車交通量等に応じ，使用目標年数を適切に設定します。

3 計画期間

3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は，5年とします。

3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

- ・これまでの点検結果を基に，今後5年間の修繕費をシミュレーションします。

4 対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況，路線の重要性，人口集中地区等を考慮し補修の優先順位を決定します。

5 舗装の状態，対策内容，実施時期

5.1 診断結果

- ・平成 25 年度に点検した 519.2 k m の診断結果は以下のとおりです。

	区分Ⅰ (健全)	区分Ⅱ (表層機能保持段階)	区分Ⅲ (修繕段階)
延長 (km)	302.0	117.5	99.7

※区分Ⅰ：損傷レベル小。管理基準に照らし，劣化の程度が小さく，舗装表面が健全な状態（ひび割れ 0%以上 20%未満，わだち掘れ 0 mm以上 20 mm未満）

区分Ⅱ：損傷レベル中。管理基準に照らし，劣化の程度が中程度の状態（ひび割れ 20%以上 40%未満，わだち掘れ 20 mm以上 40 mm未満）

区分Ⅲ：損傷レベル大。管理基準に照らし，それを超過している又は早期の超過が予見される状態（ひび割れ 40%以上，わだち掘れ 40 mm以上）

5.2 対策内容と実施時期

(1) 対策内容

ひび割れやわだち掘れの程度を判断して，切削オーバーレイ工法を基本に補修を行います。

(2) 実施時期

対策の優先順位に基づいて，順次，補修を行います。

また，緊急の条件が発生した場合は，優先順にかかわらず修繕を行います。